

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 27日

【評価実施概要】

事業所番号	0173200569		
法人名	有限会社 和		
事業所名	グループホーム和1・2		
所在地	士別市東1条2丁目440番地 (電話) 0165-22-1756		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年8月23日	評価確定日	平成19年9月27日

【情報提供票より】(19年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成)16年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	11.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	10,000~12,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	700 円	

(4) 利用者の概要(8月23日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	4	要介護2	5		
要介護3	8	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 82.6歳	最低	59歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立士別総合病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は市の中心街に位置し近隣には商店や喫茶店が多数あり、利便性が高く恵まれた環境に立地している。玄関にはスロープや手すりが設置されており、利用者に配慮した造りになっている。事業所敷地内にパークゴルフ場が設置され、プランターにて花や野菜を栽培するなど、利用者の活動意欲が湧くような環境が整えられている。「和む場所で、その人の力を大切に、あたりまえの生活を共に生きる」をモットーに日々の実践に取り組んでおり、今後もますます期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ケアプランの改善や医療支援体制の強化・より多くの外出支援・衛生や服薬管理の徹底など、前回評価での課題を積極的に検討して改善に向けて取り組んでおり、成果を出している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善事項を踏まえながら全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。また、今回の外部評価に際しても職員の積極的な情報提供がなされた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度開催されており、自治会長・民生委員・家族代表・施設長が参加し活発な意見交換が行われている。開催後は会議内容の報告書を作成し、他の職員にも情報の提供を行い共有化が図られ、事業所の運営に活かされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>利用者家族の多数は近隣に在住しており、頻繁に来訪している。その際に職員は利用者の暮らしぶりや金銭出納等について家族に報告し、意見・要望を聞いている。来訪できない家族には、職員手書きによる報告書を事業所便りと一緒に送付している。家族と職員の関係は良好であり、計画作成者を通じていつでも意見・要望を伝えられるような体制が整えられている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会長による声掛けと協力により、地域住民と交流する機会が増えていく。これからも事業所の広報活動・行事への参加・ボランティアの受け入れ等を積極的に行うことにより、地域と密に連携を取ることが期待される。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い、「和む場所で、その人の力を大切に、あたりまえの生活を共に生きる」という独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は全職員でつくりあげており、共有されている。また、日々のケアにおいて理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や自治会の協力により、少しずつ地域と交流する機会が増えてきている。しかし、近隣住民が気軽に事業所へ来訪するまでには至っていない。	○	今後、地域の行事に参加したり事業所便りを配布するなど、積極的な働きかけを行うことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	研鑽のための研修参加・共有空間の確保・ゆとりのあるケアに沿った職員配置など、前回評価での課題について積極的に検討し、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催されている。会議には自治会長・地域包括支援センター職員・民生委員・施設長・家族代表が参加し、活発な意見交換が行われている。また、開催後は会議内容についての報告書を作成し、他の職員へ情報提供を行い共有化が図られている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センター職員も参加しているが、密に連携を取るまでには至っていない。	○	今後、市町村担当者に事業所の取り組み状況を報告するなど密に連絡を取り、行政の協力を得られるよう働きかけることが期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、職員手書きによる利用者の暮らしぶりや健康状態を載せた報告書を、事業所便りや金銭出納帳と併せて家族に送付している。しかし、職員の異動について詳しく報告するまでには至っていない。	○	今後、事業所便りに職員の異動についても記載し、事業所の情報を家族にも提供することが期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談窓口が記載されている。また、運営推進会議において出た家族からの意見に関しては会議で話し合い、運営に活かしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や新規採用に関しては、10日前から新旧の職員と一緒に利用者に関わり合いを持ち、馴染みの関係となるよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は年に数回、実践者研修やグループホーム介護スタッフレベルアップ研修に参加し、研鑽に努めている。研修受講後は事業所内で伝達研修が行われ、報告書を作成している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内に他事業所が3ヶ所あるが事業所間で交流するまでには至っていない。また、連絡協議会への加入や地域連絡会の発足もない。	○	他事業所との相互見学や学習会を行うことにより連携を図り、ネットワークづくりに取り組むことが期待される。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者・家族に事前に事業所見学をしてもらい、事業所の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごす時間を多く確保しており、協働しながら過ごせるような場面づくりや声掛けに配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者との会話や関わりを多く持つことを心掛けており、希望や意向の把握に努めている。また、職員間で話し合い、共有化を図っている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員間で話し合い、利用者の生活歴や家族の思いを十分に採り入れた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1度状況把握のアセスメントを行っており、3ヶ月に1度介護計画の見直しを行っている。また、利用者の身体状況に変化があった場合はそのつど家族と話し合い、家族の意見・要望を聞きながら見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>買い物・行事参加への送迎や通院の付き添いなど、柔軟な支援を実践している。今後も多方面で対応できるよう検討中である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医や協力医療機関での受診支援を行っており、病院へは職員が付き添っている。医療機関との連携は密に取れており、緊急時の体制も整えられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期の対応方針について家族への説明がなされており、同意書も作成されている。また、協力医や主治医との連携も取れている。しかし、具体的な対応方針を話し合うまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、終末期に対する方針を家族・医師・職員等で話し合うことが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者のプライバシーを損ねることのないような言葉掛けや対応を心掛けており、親しみのある声かけに利用者も笑顔で対応している。また、各種書類についても個別に整理され保管場所が決められている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は散歩やラジオ体操など、利用者の思いや趣味を活かした生活を送れるよう一人ひとりのペースを大切に支援している。また、事業所内にも自由に過ごせる空間が確保されており、利用者は思い思いに過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	後片付けを利用者と職員が一緒に行っている。また、和やかで家庭的な雰囲気の中で一人ひとりのペースに合わせて食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望・体調を考慮した週に3回の入浴支援を行っている。しかし、職員の配置により午前・就寝前の対応は行っていない。	○	今後、利用者のこれまでの生活スタイルに合わせた支援に取り組むことが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付け・掃除・花の栽培・生け花など、利用者一人ひとりの生活歴や力を活かした役割・楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所内にはパークゴルフ場や憩いの場があり、運動不足にならないような工夫がなされている。また、散歩や買い物など一人ひとりの要望に応じた外出支援が行われており、馴染みの喫茶店もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず自由な暮らしを支援している。利用者が外出しそうな様子の際には職員が付き添っている。また、緊急時の対応や搜索マニュアルが作成されており、実践研修を行う予定である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や設備会社協力の下、年に2回防火避難訓練が実施されている。また、救急救命蘇生・骨折時の対応・AED取り扱い・誤嚥等に対する研修も行われており、緊急時への対応も万全である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた献立が組まれており、利用者の身体状況に応じて調理方法にも配慮がなされている。彩りにも考慮されており、事業所の敷地内で栽培された野菜も盛り付けられている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大型のソファが設置され和室空間もあり、利用者がゆったりと寛げる場所が確保されている。壁や手すりにも木材が使われて、建物全体が木のぬくもりで包まれている。また、各所で消臭もされて清潔感があり、利用者が居心地良く過ごせるような配慮がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具・たんす・寝具が持ち込まれたり家族の写真や趣味の作品が飾られており、利用者の個性が表現された空間となっている。また、仏壇を持ち込んでいる利用者もおり、月命日にはお参りの支援も行われている。		

 は、重点項目。